

保護者の皆様

校長 山口 祐一

入梅の候、保護者の皆様には、ご健勝にてお過ごしのことと存じます。

天候は安定しませんが、気温も上がり始めました。体育の学習では水泳の学習が始まります。体力の向上、水への親しみ、泳力向上の面から、健康に支障のない限り参加させてくださるようお願いいたします。多くの子供たちが楽しみにしている学習ではありますが、水の事故がないよう十分配慮して指導をしていきたいと思ひます。ご家庭でも、下記の水泳の学習に関することや注意事項について、十分に話し合い、安全に学習を進めることができるようご協力ください。よろしくお願ひいたします。

1、指導期間 1学期 6月27日（月）～7月19日（火）
 2学期 8月26日（金）～9月 8日（木）

校時／曜日	月	火	水	木	金
1・2校時	4	6	3		1
3・4校時	2	1	4	2	3
5・(6)校時		5		6	5

◎時間割の変更があります。忘れ物が無いように注意してください。

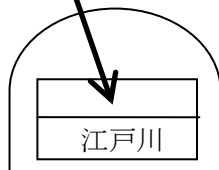
- ・プール 開 き 6月27日（月）
- ・夏季水泳指導 前期 7月21日（木）～8月 3日（水）
後期 8月18日（木）～8月24日（水）
※土、日を除きます。
- ・5年 区水泳大会 9月 1日（木） 予備日2日（金）
- ・2・4年着衣泳、全校プー ル 納 め 9月 8日（木）

4、水着、水泳帽について

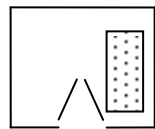
・紺か黒の水着を着用し、名前は、油性のペンで下記のように書いてください。

＜水泳帽＞

ここに、マジックテープが
付けられるもの



＜水着（男子）＞

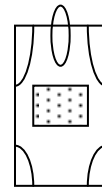


7～9cm

11～13cm

1-1
江戸
川

＜水着（女子）＞



15～18cm

10～12cm

1 - 1
江戸川

* 女子の水着について

セパレートタイプの水着は避け、飾りやフリルのついていないものをご用意ください。ただし、児童の体格に応じて、セパレートタイプの水着を着用せざるを得ない場合、必ず担任に相談されたうえでご購入下さい。

＜水泳帽の色＞

水泳帽の色	1 年	青色	2 年	緑色
	3 年	オレンジ色	4 年	水色
	5 年	黄色	6 年	赤色

※近所の文具店かスポーツ店で購入してください。

5、持ち物、水泳カード

(1) 水着、水泳帽のほかに準備するもの

・バスタオル ・ビーチサンダル ・ビーチバッグ

※毎年、持ち主の分からない落とし物がたくさんあります。必ず記名して下さい。

(2) 水泳出席カード

◎事故防止のため、水泳実施日の体調を知るために使います。

水泳出席カードの、参加不参加の記入をする時の判断は、あくまでも、
お子さんの健康観察のうえでお願いします。

- ・プールに入れるかどうか、児童の健康を観察し、体温を計ってください。
- ・必ず、保護者の方が、水泳出席カードに体温を記入し、押印するかサインを
してください。

水泳出席カードに体温を記入してもらっていない児童、押印または
サインをしてもらっていない児童、水泳帽を忘れた児童は、プールに入れません。

6、水泳用ゴーグルの使用について

下記の点について、ご家庭でお考えのうえ、必要ならば使ってください。

○お子さんにとって必要である事

- ・プールには、消毒のために塩素剤を入れております。その濃さは、水道の水と同じです。「ほかの友達がゴーグルをしているから」というようなことが無いようにお願いいたします。

○自分で着用、調節できる事

- ・泳いでいる時にとれたり、水が入ったりしてしまうと泳ぐのにかえって邪魔になってしまいます。そのようなことが無いよう、調節できるようにしておいてください。

○忘れたり、落したりせず、後始末がきちんとできる事

以上の点について、よくお考えのうえ、ご判断ください。

なお、ご使用させる場合、他の用具と同様、必ず名前を書いてください。

- * 事故防止のため、競技用のゴーグル（目を保護するラバーがついていないもの）の使用はできません。**

7、健康安全に関するお願い

水泳は、心身の健康、健康の保持増進に大変よい運動ですが、体力を要する運動でもあります。ふだんの健康に注意することはもとより、水泳のある日は、特に、健康状態を確認してください。

◎健康安全上、特に注意していただきたいこと

(1) 家庭での健康観察について

- ・朝食を必ず食べさせてから登校させてください。朝食抜きのお子さんも多くいます。食べていない時は、プールに入れません。
- ・水泳は、大変疲れますので、睡眠は、充分とらせ、帰宅後は、ゆっくり休養させてください。
- ・頭髪はきちんとまとめ、つめは短く切り、体はいつも清潔にしてください。
- ・水泳のある日は、特に、登校前と下校後のお子さんの健康状態に注意してください。

(2) 健康面での配慮事項について

- ・健康診断の結果、特に身体的に注意を要すると診断されたお子さんについては、指導上、特に注意をするため、すぐ分かるよう、白い水泳帽を着用していただく場合があります。ご協力よろしくお願い致します。
- ・注意を要するとされた場合は、特に健康観察が必要とされます。事故防止上、大切なことですので、水泳出席カードへは、正確に記入してください。健康状態によっては、水泳を禁止させる場合もあります。

(3) 水ぎらいにならないこと

- ・健康上の問題がないのに、プールへの参加をいやがるお子さんがいます。水が怖い、泳ぎが苦手ではずかしいなど理由は様々ですが、水に入らないまましていると、一生、水を避ける生活になりかねません。生涯学習や水難事故に備えるという観点からも出来るだけ参加できるよう励ましてあげて下さい。

(4) その他、注意しなければならない病気

- ・湿疹体質——塩素によってひどくなりやすいので、注意してください。
- ・内耳炎、外耳炎、中耳炎——医師の許可を受けてください。
- ・鼻炎——プールの前後は、鼻をよくかませてください。

その他、アレルギー等、注意しなければならない症状がありましたら、事前に担任に知らせてください。

以上